

グループ	項目	前文に盛り込みたいキーワード・キーセンテンス
1	①まちの成り立ちや特性	大学が多いまち
		古戦場
		日本一活気ある長久手
		緑と都心が融合するバランスのよいまちの長久手は
		ほとぎの里(古代)出土品は市の宝
		伝統的なお祭りのある長久手市
		若いまちだけど歴史があるまち
		学術研究都市
		名古屋のとなり
		教育とスポーツの街
	②条例策定の時代背景	5つの村の合体
		文化遺産がある
		田園と都市の融合
		家康の直接交戦した2か所の一つ
		豊かな緑のまち長久手市は
		地域のつながりが薄い
		人口増加
		行政だけでは立ち行かなくなった今日では
		知らないもの同士のつながり
		知らないもの同士のつながり
③目指すべきまち・自治の姿、進むべきまち・自治の方向性	市民同士で助けあいのできる温かいまちを目指して	
	若い女性30～40代が中心となる	
	若者が住みたい	
	自然豊かな街づくり	
	市民が主役	
	若い人にも高齢者にも	
	守る 育てる	
	おかあさんも幸せ！	
	健康的で心豊かな街	
	こどもたちの未来	
④理想とするまち・自治の姿を実現する手段として必要な事項・姿勢	子育てしやすいまち	
	静かでおだやかなまち	
	話し合い	
⑤条例制定の目的・理由や決意宣言	市職員地域派遣	
	困った時には話し合いで解決する市(市民が集い)	
	市民主体のまちづくり	
	自然を守る	
	役割と責任	
	すべては未来のこども達のために！	
	みんなの幸せ	
	市民の権利	
	まちづくりの規範	
	次の世代へのバトンタッチ	
⑥その他	子どもと老人にやさしいまち	

グループ	項目	前文に盛り込みたいキーワード・キーセンテンス
2	①まちの成り立ちや特性	<p>里山と田園に囲まれた緑豊かな街 地下鉄・リニモ・インターなど交通網 万博の魂 大学がたくさんあり、若い世代が移り住み子どもに恵まれたまち 警護まつりや棒の手のまち(文化のまち)古戦場 里山 緑や川 自然に恵まれたまち 緑美しいまちを残す(田園風景) 街と緑の融合 季節を感じる暮らし 大学が多い 地域の祭りなど伝統文化に恵まれている 古戦場跡 歴史と伝統がある 高速道路やリニモ</p>
	②条例策定の時代背景	<p>若い子育て世代と高齢者が共に安心・安全で暮らせるまち 多様性を認め合う誰もが尊重される街 環境問題 サティスナブル社会 平均年齢38.6歳の若いまち長久手 若さ 人口分布のかたより 市民主体のまちづくり 長久手市に関わるすべての人が市民 新しい価値観と伝統のみぞ</p>
	③目指すべきまち・自治の姿、進むべきまち・自治の方向性	<p>市民が主役 子どもたちの意見を拾う場をつくる 参加する仕組み 自治組織NPOの支援の仕組み協働方法 歴史・住民・文化 新と旧の融合 挑戦できる雰囲気づくり 誰でも参加できる 市民一人一人が主役になる街 未来の長久手を展望できる自治の姿を 新しく入ってきた住民とずっと住んでいる住民の温度差 愛着ある長久手を市民一人一人が良くしたいという気持ち 誰もが長久手に住んで良かったと思えるまちづくり 市民活動が活発 DIYなまちづくり 市民参画イベントを守り、紡ぎ出す 人づくりと地域の輪 市民一人一人助け合う まちづくり決定プロセスに市民が参加できる街 誰もがまちづくりに参加しやすい雰囲気</p>
	④理想とするまち・自治の姿を実現する手段として必要な事項・姿勢	<p>積極的に情報公開 意見や苦情をくみ取られる仕組み 情報交換のための対話 対等な関係 子ども-大人 行政-市民 女-男 60歳以上の元気な方々を地域の資源に みんなが手をとって明日を目指すまちづくり 子どもにとって住みよく高齢者がいつまでも住み続けたいとなるまち 福祉の充実したまち 市民・行政・議会がそれぞれの役割・責任をもつ 市民の意見や苦情をくみ取るシステム 地域住民のことは地域の皆(市民)で考え行動する仕組みを考える 小さな課題に取り組む 住民自治の具体化(連合会・自治会の機能を拡大)</p>
	⑤条例制定の目的・理由や決意宣言	<p>前文の主語は市民！ いつまでも語り継がれる自治基本条例 変わることを恐れない 自分たちのまちは自分たちで守るまち 住み続けたいまち 今後のまちづくりを担う子ども達がまちに愛着を持ち、未来に長久手の歴史や文化を受け継ぎ ないものなだりよりあるもの探し 仲間づくり</p>

グループ	項目	前文に盛り込みたいキーワード・キーセンテンス
3	①まちの成り立ちや特性	若者
		古戦場
		リニモ
		文化
		香流川
		ベッドタウン
		万国博覧会開催地の市である
		自然が多い
		緑と都市と田園風景の中にある住みよい町
		長久手市は西部に近代都市が成り立ち、中央の市役所周辺には未来都市へ向かって前進しており、東部には緑豊かな田園地帯が広がり歴史と共に歩んで来た町
		田
		若いまち
		リニモ沿線
		古戦場のある町
	区画整理	
	歴史のある	
	世代的、家系風習に拘束されない墓に入りたいなら樹木葬を進める 自然に眠れる	
	町の中心をリニモが通っている町	
	子どもと家族が遊べる大きな公園がある町	
	1位の街	
	若者 学園都市	
	学生の多い	
	若者の多い町 子どもの育成に良い町	
	②条例策定の時代背景	つながり不足
		人口増加
	③目指すべきまち・自治の姿、進むべきまち・自治の方向性	地域のつながり
市民主体		
防災防犯意識		
子どもが大きくなっても住みたい街		
自然との共生		
市民主体		
福祉施策を実践するのは国の施策ではない 地方の自治体で一步踏み込んだ条例化することはできる		
主体性		
緑の町の中 草木にも体調に良い木と悪い木(毒)の木がある		
市民・行政・議会の協働		
多様性の尊重		
緑を守る		
自然と街と融合している		
自然との共生 植えられる木 体に毒の草木を見分けて植える		
④理想とするまち・自治の姿を実現する手段として必要な事項・姿勢	全員が役割を持つ	
	行動する市民	
	責任	
	自助・共助	
	言いたいことを言わずに我慢することはない。言いたいことを言うことは口撃でない、攻撃でもない 黙ることが大切でない	
	調和	
自立		
⑤条例制定の目的・理由や決意宣言	長久手人としての誇り	
	最高規範	
	新しい自治の形	
⑥その他	子どもの役割が有る	

グループ	項目	前文に盛り込みたいキーワード・キーセンテンス		
4	①まちの成り立ちや特性	緑豊か		
		里山の自然が残る		
		田園と居住地が融合		
		リニモ		
		知が集まる(大学・研究所)		
子ども、若者が多いまち				
歴史がある				
緑が多い				
愛・地球博の会場				
まちや道がきれい				
リニモがある				
リニモが走る				
便利				
ボランティアが活発				
若い人と子どもが多い				
歴史あるまち				
小牧・長久手の戦い				
長久手合戦のまち				
②条例策定の時代背景		新しい人と昔からの人 付き合い方		
		まちのつながりが希薄		
		自治会加入率が低い		
		今後、急激な高齢化が心配		
		少子高齢化		
		イオン・イケアに浸食されそうなまち		
③目指すべきまち・自治の姿、進むべきまち・自治の方向性		一人ひとりが主人公		
		顔が見える		
		子ども達がいきいきと輝く 笑顔があふれるまちづくり		
		居場所がある懐の深いコミュニティ		
		元気で100歳まで活躍する市民へ		
		いざという時には助け合える		
		近所で助け合う		
		近所地域のつながり		
		こどもたちの笑顔があふれるまち		
		一人一人が輝く		
		子育てしやすい		
		みんなが笑顔		
		市民が主役のまちづくり		
		自分たちでまちをつくる		
		まちに愛着をもつ		
		住み易さ 福祉のモデルとなるまちづくり		
		いつまでも住み続けたい		
		安心安全		
		市民が幸せに暮らせるまち		
		④理想とするまち・自治の姿を実現する手段として必要な事項・姿勢		プロセスを大事にする
				まちづくり協議会
				地消地産(地域で消費するものは地域で作る)
				全員参加(子どもからお年寄りまで)
子どもたちが時間を忘れて遊べる場所がある				
散歩に飽きない				
⑤条例制定の目的・理由や決意宣言		一人ひとりに役割と居場所がある		
		まちづくりの概念と目標		
		まちづくりの方向性を示す		
		自治に関われることが楽しくなる		
⑥その他		新しい長久手の仕組みづくり		

グループ	項目	前文に盛り込みたいキーワード・キーセンテンス
5	①まちの成り立ちや特性	都市×田園
		古戦場
		新旧とりまぜて
		万博が開催された地
		自然豊かな里山
		まだ田園地帯がある
		田園と街が融合
		新しいまち×古いまち
		緑が多い 田
		コンパクトなまち
	古戦場のまち	
	②条例策定の時代背景	言葉での伝え方が少ない感情
		世代を超えたつながりが希薄
		日本、人口減少、少子高齢化、長久手まだきてない、ただこれから
	③目指すべきまち・自治の姿、進むべきまち・自治の方向性	支え合いのあるまち
		若い世代が移り住みたくなるようなまち
		「じぶんごと」から「みんなごと」へ
		地域協働
		歴史と伝統を重んじる
		自由な精神があふれている
		手と手を取りあって
		世代間交流
		市民ファーストが大事
すみやすいまち		
自助共助そして公助		
④理想とするまち・自治の姿を実現する手段として必要な事項・姿勢	皆で子育て	
	時間がかかっても回り道でも対話による自治	
	市民全員参加	
	笑顔であいさつ	
	相互扶助	
	住民自らで決める	
	心と心の安らぎ	
	みんなに居場所がある	
共助		
⑤条例制定の目的・理由や決意宣言	子どもへ、またその子どもへ この条例が語り継がれるように	
	責任を負う	
	多様性を認める	
	市民として私は〇〇でありたい	
	差別のないまち	
	これがこのまちの基本でありたい。そしてこれがコミュニケーションの第一歩。長久手市民はコミュニケーションをいとわな	
	い	
	食の自給自足	
住むだけでなく働く場があるまち		
⑥その他	未来に向けて	
	耳をかたむける	
	芸術があふれるまち	
	目を見る	